(様式向上-1)

熊本市中小企業経営向上小口資金融資制度事業計画書

平成 年 月 日

(住所)

(氏名)	印
------	---

1 現況、課題点、改善策、金融	機関、商工団体、その他認定経営革新等支持	爰機関による支援
l 用		
現 況		
[""]		
	T	
経営上の課題点	課題点を踏まえた具体的改善策	支援を受ける機関
経営全般		
経営戦略の策定		
IT化の遅れ		
事業の「選択と集中」		
事業承継・後継者問題		
その他()		
売上·収益		
営業力の強化		
」		
市場の競争激化		
商品開発力		
採算分析(製品、商品、店舗別など)		
原価・経費の削減		
その他()		
人材・マネジメント		
管理者層の育成		
必要な人材の採用		
店舗マネジメントカの向上		
その他()		
財務		
設備投資金計画の策定		
資金繰り計画の策定		
売掛金の回収期間長期化		
その他		
その他		
()		
()		
	5.47.24 tt 40.65 tt 10.14 BP 3	
【金融機関・商工団体・その他認力	<u>に経宮卓新等文援機関】</u>	
機関名	社が受ける経営支援の内容	

2 業績推移と今後の計画

(単位:千円、%)

_		<u></u> #□ c== #±	(A)	人物日竹	7.	=1 :== 4 #0	_	=1:=:0#0	_	=1:=:0#0	_	=1:=:4#0	_			小羊车人!
		前期実績								計画3期						改善度合い
┡	· 	0/0期	比率	0/0期	比率	0/0期	比率	〇/ 〇期	比率	〇/ 〇期	比率	〇/〇期	比率	0/0期	比率	(B) - (A)
	上高															
売-	上原価															
	期首棚卸															
	仕入															
	原材料費															
	外注加工費															
	労務費															
	その他製造経費															
	うち減価償却費															
	期末棚卸															
売.	<u>.</u> 上総利益															
	売管理費															
1	人件費															
\vdash	うち役員報酬															
	荷造運搬費															
	販売手数料															
	減価償却費															
	その他															
<u>~</u>	業利益															
	取利息・配当金															
	A利息·手形売却損															
	の他営業外損益															
	常利益															
特	別損益															
法	人税等															
当	期利益															
					_						-				_	
当期	用利益+減価償却費															
- 77	, , , "», mi >, 24 34															

3. 借入金の期末残高推移

(単位·千円)

							<u>+</u> /	<u> 1212:十円)</u>
	調達先	前期実績	今期見込み	計画1期目	計画2期目	計画3期目	計画4期目	計画5期目
	孙连兀	〇/〇期	〇/〇期	〇/〇期	〇/〇期	〇/〇期	〇/〇期	〇/〇期
既								
存借								
借								
入								
	小計							
本計	画実施に必要な							
新規	見借入							
総	合計							
借入	金増減額(前期比)							
	内キャッシュフローによる	返済						
	内資産売却による返済							
	内役員借入金による返済	Ŧ						

	+-1 +	<u> </u>	1 — DD — 7 = 2 DD
/I	V =+ H = M	必要な新規借入	
┰.	4 n l m - m l -	ツンマン・ヘ あり かし ローハ	. I — I — I — I — I — I — I — I — I — I

(1頁目の「具体的改善策」実施との関連性を中心に必要理由、資金使途、資金効果などを記載)

5	5 計画終了時の定量目標及び達成に向けた行動計画等	等
((定量目標)	
(:	(行動計画等)	
((定量目標)	
((行動計画等)	
	(定量目標)	
(:	(行動計画等)	
<u>6</u>	6 金融機関、商工団体、その他認定経営革新等支援機	関の支援内容及び所見
	_(機関名)	旦当者名)
- 1	\ [X] [Z] [L] / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<u> </u>

_(機関名)	<u>(担当者名)</u>	
_(機関名)	<u>(</u> 担当者名)	
上記支援内容について、融資金融機関と連携し(扇 合には自らが)、経営支援を行うことを確約します。	性資金融機関と支援機関 で成 年	
(主たる支援機 住所 名称 代表者 連絡先 担当 (後関) ()	印
(支援機関) 住所 名称 代表者 連絡先 担当 (()	印
(支援機関) 住所 名称 代表者		

- ※ 支援機関は金融機関、商工団体、その他認定経営革新等支援機関のことです。 ※ 支援機関の代表者は金融機関の支店代表者でも可です。

知的資産経営レポート	商号:		<u></u>	<u>. 外部環境(機会と脅威)</u>		様式向上-2
キャッチフレーズ				機会		取組の 優先順位
I. 経営理念(企業ビジョン)						
Ⅱ-1. 企業概要	Ⅱ-2. 沿 革					
【代表者】 【住 所】	:					
【電話番号】				脅 威		取組の 優先順位
【事業内容】 【資本金】	Ⅱ-3. 受賞歴・認証・	·資格等				
【従業員】 【年 商】						
[URL]						
Ⅲ-1. 内部環境(業務の流れ)						
	3 (5)	顧客提供価値	V. ≤	<u>*後のビジョン(方針・戦略)</u>		
				部環境と知産を踏まえ。②		
	[/]	[/		後のビジョ ン ③ ③		
業務の流れ	他社との差別化に繋がっている取	組		なのビジョン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		
0				現するため の取組		
3						
(4)			<u>VI.</u> 個	<u>「値創造のストーリー</u> 【過去~現在のストーリー】		【現在~将来のストーリー】
5				(年~ 年) 知的資産の活用状況		(年~年)
顧客提供価値				人的資産		知的資産の活用目標
Ⅲ-2 内部環境(強み・弱み)			知的	※従業員が退職時に一緒に持ち出す資産(ノウハウ、技能、経験、モチベーション、経営者の能力など)		人的資産
【自社の強み】	【 自社の弱み 】(経営調	:	資 産 · K	構造資産 ※従業員の退職研に企業内に残留 する資産(システム、プランドカ、もう かる仕組みなど)		構造資産
			P I	関係資産 ※企業の対外的関係に付施た全て の資産(販路、顕称・金融機関するとと の関係なと)		関係資産
【その理由・背景】	【その理由・背景】			そ の 他 ※上記3分類に属さないもの (資金、設備など)		その他
				【現在】	_	【将来】
			K G I			

知的資産経営	営レポートに準ずる	6様式 商号:	作成日:	年	月	日
I 経営理念	(企業ビジョン)					
Ⅱ -1 企業 【代表者】	概要					
【代表者】 【住所】 【電話番号】 【事業内容】 【資業員】 【任商】 【URL】			Ⅱ -3 受賞暦・認証	[∙資格等		
Ⅲ 知的資産	を活用した今後の)取り組み		· <u>-</u>	<u>-</u> -	
内部環境	強み	弱み	活用状況	活用	目標	
人材						
組織						
社外とのつながり						
その他						
外部環境	機会(チ	ヤンス)	脅威(リスク)		7	
顧客や競争相手の状況						
業界や地域全体の状況						
その他						
Ⅳ 最終目標	!及び達成に向けが	ト取り組み				
	及び達成に向けた 現況		目	標		

≪記載要領≫

I 経営理念(企業ビジョン) |

企業を経営していくことで何を達成したいのか、経営において大切にしている考え方は何かを簡潔に記入してください。

Ⅱ-1 企業概要

自社を知るための最低限度の情報を記載してください。

Ⅱ-2 沿革

自社にとっての転換期を記載してください。

Ⅱ-3 受賞暦・認証・資格等

自社にとって強みになる(裏付ける)ものを記載してください。

Ⅲ 知的資産を活用した今後の取り組み

(内部環境) ・・・ 「強み」もしくは「弱み」しかない場合はどちらかのみの記載でも可です。

人材・・・・・ 人材に関する強み(経営者・従業員)を記載してください。例: 社長のカリスマ、社員のノウハウなど

組織・・・・ 組織(しくみ)に関する強みを記載してください。例:文化、各種しくみ、マニュアルなど

社外のつながり・・・ 組織外のつながりについて記載してください。 例:顧客とのつながり、調達先とのつながりなど

その他-・・ 上記以外の強み(他にアピールすることがあれば記載してください。)
強み
-・・ 自社の製品及びサービスがなぜ選ばれているかの観点で記載してください。
弱み
-・・ 自社の成功を阻害する要因や、他社に劣っている事柄を記載してください。

活用状況 「強み」を現在どのように活用しているのかを記載してください。「強み」がなければ記入不要。 活用目標 ・・・ 「強み」を今後どのように活かすのか、「弱み」をどのように克服していくのかを記載してください。

(参考)活用状況、活用目標を記載するときに使う主な指標

製造業 人材 社員の経験年数、技能試験合格者数、研修受講数、従業員定着率

組織 新製品開発数、生産改善提案件数、新製品売上寄与率、製品ロス率、知的財産権保有数

社外のつながり 継続受注数、協力会社数、共同開発先数、協力会社への改善指導回数

非製造業 人材 有資格者数、従業員満足度指数、女性社員登用数

組織 取扱商品数、商品在庫回転日数、クレーム防止会議の開催数、ホームページのアクセス数

社外のつながり リピート率、クレーム数、ポイントカード会員数、顧客満足度指標

(外部環境)

顧客や競争相手の状況・・・ 自社が直接関係する市場や顧客、競争相手についての動向を記載してください。(ミクロ的視点)

業界や国全体の状況 ••• 自社が身を置く業界や国全体の状況について記載してください。(マクロ的視点)

記入が困難な場合は記入不要です。

機会(チャンス) ・・・ 自社の製品及びサービスがなぜ選ばれているかの観点で記載してください。 容威(リスク) ・・・ 自社の成功を阻害する要因や、他社に劣っている事柄を記載してください。

Ⅳ 最終目標及び達成に向けた取り組み

現況・・・・ 最終目標に対して現在の状況を記載してください。

目標 … 目指すべき最終目標を記載してください。

(参考)現況、目標を記載するときに使う主な指標

売上高、利益率(利益額)、得意先数、従業員1人あたりの売上高(付加価値額)

事業計画実行状況等報告書

平成 年 月 日

(住所)

(氏名) 印

- 1 報告対象事業年度 平成 年 上期 · 下期
- 2 事業計画

(定量目標)

(行動計画等)

3 事業計画の実行状況

(様式向上-4)

事業計画取組状況等報告書

(取扱い金融機関用)

熊本県信用保証協会 御中

協会顧客番号	金融機関本・支店名		平成 年 月 日
住所 法人名 代表者名	代表者名	印	
または氏名 報告対象事業年度	(担当者名:		<u> </u>
1. 報告対象事業年度における中小企業者からの半期報告の状況	2. 報告対象事業年度の中小企業者の 実績 a	決算状況	(金額単位: 千円· 百万円)
		計画b 計画比 a/b	計画達成·未達理由、特筆事項等
	売上高 売上原価(製造原価)		
計 画	減価償却費		
	売上総利益		
中小企業者からの報告内容等 融機関・商工団体・その他認定経営革新等支援機関の対応	(率)		
報告日年月日	販売及び一般管理費 役員報酬 人件費(役報以外) 減価償却費		
	営業利益		
	(率)		
 	営業外収益 受取利息·割引料		
	営業外費用 支払利息・割引料		
	経常損益		
	特別利益		
	特別損失		
報告日 年 月 日	法人税等 当期損益		
	当期損益		
	※勘定科目は各企業の決算書に合わせて		
	3. 決算を踏まえた翌事業年度における	S重点課題·取組事項等	
半			
	4. 翌事業年度における金融機関・商工	<u> 団体・その他認定経営革新等支援</u>	景機関の経営支援の内容

[能士士山小人类奴党白 [小口次入田]
[熊本市中小企業経営向上小口資金用]